

# 社会の健康

## 基本目標 6

### 豊かな心を育むまち

学ぶことや創ることの喜び、スポーツで身体を動かしたときの爽快感や充実感、美しいものに触れたときの感動は、人々の心にゆとりとうるおいをもたらします。

大和市では、次代を担う子どもから高齢者まで、多くの市民が生涯学習やスポーツに親しみ、芸術、文化活動を楽しんでいます。これらの活動は個人の生活の質を向上させるばかりでなく、心身の健康とも密接な関わりがあるといわれています。

また、芸術、文化活動の高まりは、これまで築きあげてきた歴史と固有の文化とともに、大和の新しい文化を形づくり、市民の創造性と豊かな感性を育みます。

大和市は、「健康創造都市」の実現に向けて、生涯学習やスポーツ、芸術、文化活動を一層活発にしていき、豊かな心を育むまちづくりを推進します。

- 個別目標 6-1 いつでも学べる場と機会を充実する
- 個別目標 6-2 地域のスポーツ活動を推進する
- 個別目標 6-3 大和の文化を守り育てる

個別目標  
6-1

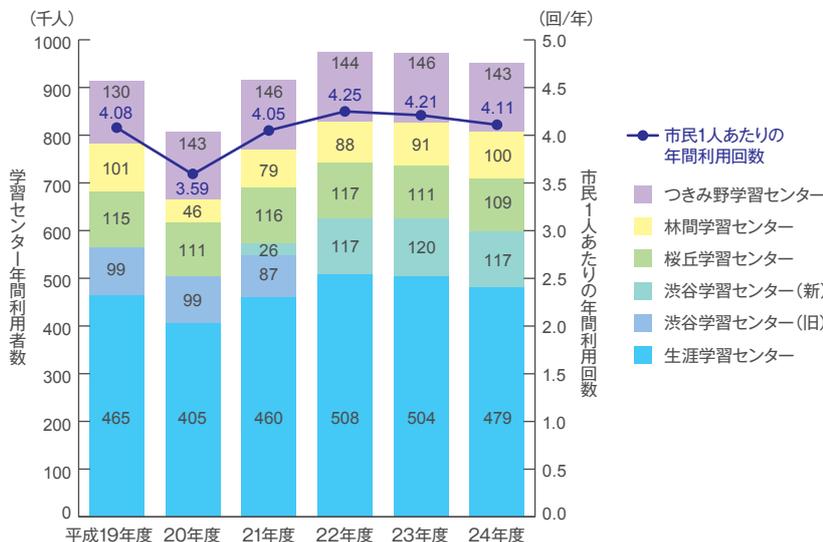
# いつでも学べる場と機会を充実する

## 現状と課題

- 生涯学習は、一人ひとりが自己啓発や生活の向上を目指し、自己にもっとも適した手段、方法で、自発的に行う学習活動であり、生きがいつくりや市民間の交流にもつながるなど、人々の心を豊かにする要素にもなっています。
- ワーク・ライフ・バランス\*の考え方の普及や団塊の世代の退職などにより、生きがいつくりや自己実現に向け、生涯学習活動に取り組む市民は増えていくものと考えられます。
- 生涯学習の拠点となる学習センターを中心に、市民のニーズに応じた講座の充実など、より多くの市民が生涯学習に取り組める機会の提供が求められます。
- 読書は知識を吸収するだけでなく、感性や表現力、創造力を高めると言われており、生涯学習の一環として、読書活動の重要性はさらに高まるものと考えられます。
- 本市においても図書館の年間図書貸出冊数が増加傾向にあり、また、図書の貸し出しに関する要望も多様化しています。
- 市民のニーズに応じた図書資料を提供するとともに、貸し出しや返却を含めた利便性の向上など、図書館の利用環境の充実が求められます。
- 読書活動は、子どもの健全な心を育み、学力の下支えにもなることから、幼い頃から読書の楽しさを伝えることが大切です。

学習センター年間利用者数と市民1人あたりの年間利用回数の推移

資料：生涯学習センター（各年度集計）



\*ワーク・ライフ・バランス……仕事と私生活の調和をとることで、仕事と私生活をそれぞれ充実させようとする考え方です。

## 取り組み方針

- 市民のライフステージに合わせながら、現代的課題\*も考慮した学習機会を提供します。また、学習講座に関する情報発信や学習相談など、生涯学習のきっかけづくりや学習活動の継続につながる取り組みの充実を図ります。
- 学習活動を支援するボランティアの育成とその活用を積極的に進め、市民主体の生涯学習活動を促進します。(個別目標7-3参照)
- 図書館では、幅広い分野の図書資料を収集し、魅力ある蔵書構成を目指します。また、情報通信技術などの活用により、貸し出しや返却、蔵書検索など市民が利用しやすい図書館機能の充実を図ります。
- 読み聞かせなどの読書活動を支援するボランティアを養成し、幼児期からの読書習慣の形成を促進するとともに、図書館と小中学校との連携の強化を図ります。(個別目標2-2、7-3参照)
- 生涯学習センターや図書館を大和駅東側第4地区の再開発事業に合わせて移転し、より快適な学習環境や読書環境の実現に向けた機能充実を図ります。また、複合施設としての利便性を活かした取り組みを推進します。(個別目標2-3、5-1、6-3参照)

めざす  
成果

1

## 生涯学習に取り組む人が増えている

様々な学習機会が提供されることにより、生涯学習に取り組む人が増えています。

### 成果を計る主な指標

市民1人あたりの学習センター年間利用回数		
現状値 (H24・2012)	中間目標値 (H28・2016)	目標値 (H30・2018)
4.11回	4.30回	4.58回

団体企画提案の地域学習交流事業・市共催事業数		
現状値 (H24・2012)	中間目標値 (H28・2016)	目標値 (H30・2018)
90件	123件	133件

### 主な取り組み

- ・ 文化芸術や語学、育児、園芸など幅広い分野の講座を開催します。また、より専門的な内容を系統的、継続的に学習できるやまと市民大学\*を開催します。
- ・ 講座の内容や施設の利用方法などについて広報誌や情報誌、ホームページにより情報提供を行うとともに、社会教育指導員による学習相談を行います。
- ・ 生涯学習ねっとわあく制度\*により、学んだことを活かしたい人を講師として登録し、学びたい人の希望に応じて講師を紹介します。
- ・ 学習団体が行う自主企画講座等の企画運営について、相談や広報などの支援を行います。
- ・ 生涯学習センターの移転にあたっては、美術などの創作活動が行える講習室、多目的の利用が可能な集会室などを整備します。



\* 現代的課題……現代社会の様々な変化に対応するために学習することが求められる課題をいいます。

\* やまと市民大学……市民の学習ニーズに応え、専門的な分野の内容を系統的・継続的に学習できる場として市が主催する講座です。

\* 生涯学習ねっとわあく制度……知識や技術を持っている市民をボランティア講師として登録を行い、市民の学習希望に応じてボランティア講師を紹介し、個人学習を支援する制度です。

めざす  
成果

2

## 読書をする人が増えている

読書活動の環境が整い、読書をする人が増えています。

### 成果を計る主な指標

市民1人あたりの年間図書貸出冊数		
現状値 (H24・2012)	中間目標値 (H28・2016)	目標値 (H30・2018)
4.60冊	5.15冊	5.87冊

図書館や保育所などのおはなし会*の 延べ参加者数		
現状値 (H24・2012)	中間目標値 (H28・2016)	目標値 (H30・2018)
1,933人	2,340人	2,580人

### 主な取り組み

- ・利用者のニーズを踏まえて図書館の蔵書充実を図るとともに、電子書籍の導入について検討します。
- ・図書館ホームページや図書館設置端末において、新着図書の情報を提供するとともに、蔵書の検索や予約、貸し出し、返却など、より利用しやすいサービスを提供します。
- ・ブックスタート\*の実施や子どもの年齢に合わせたブックリストの発行などにより、子どもの家庭での読書（家読）を促進します。
- ・読み聞かせやストーリーテリング\*のボランティア養成講座を開催します。また、ボランティアと連携しながら図書館や保育所などのおはなし会を行います。
- ・児童・生徒を対象に図書館見学や一日図書館員など体験学習の場を提供するとともに、小中学校への授業用貸し出し図書の充実を図ります。
- ・図書館の移転にあたっては、ゆとりあるスペースの確保や自動貸出機の導入とともに、屋内公園と同フロアに児童書架を配置するなど、使いやすさに配慮した整備を行います。

### 図書の年間貸出冊数と市民1人あたりの 年間貸出冊数の推移

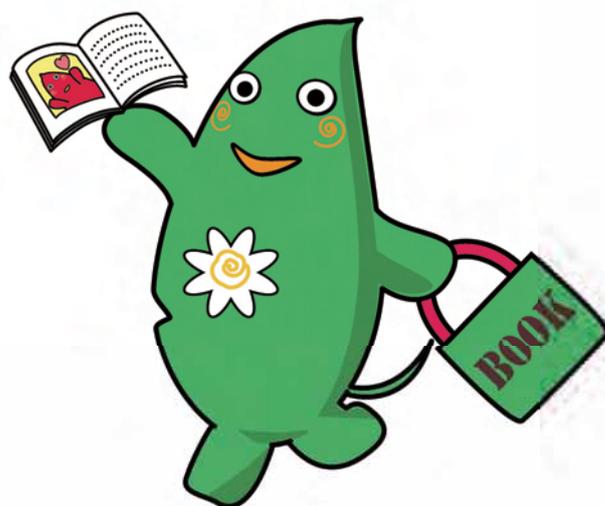
資料：図書館（各年度集計）



\*おはなし会……子どもを対象に絵本の読み聞かせや紙芝居などを行っています。

\*ブックスタート……4か月児健康診査の会場で絵本の読み聞かせを行い、絵本やブックリストなどを配布しています。

\*ストーリーテリング…物語、おはなしを覚えて語って聞かせることで、「素話」、「語り」ともいわれます。



個別目標  
6-2

# 地域のスポーツ活動を推進する

## 現状と課題

- スポーツは、体力の向上や健康の維持増進につながるとともに、達成感や連帯感などを人々の心にもたらしめます。また、青少年の健全育成や世代間の交流など、スポーツの果たす役割や意義は重要です。
- 日常的にスポーツを楽しんでいる市民は増加傾向にあります。また、スポーツ活動へのニーズは多様化しており、より気軽に快適にスポーツに取り組める環境を整える必要があります。
- より多くの市民がスポーツに親しめるよう、スポーツをする機会だけでなく、試合の観戦やスポーツイベントの運営参加などの機会を充実させることが必要です。

## 取り組み方針

- 幅広い世代の市民がそれぞれのレベルや目的に合わせて、自らの体を動かせる環境を整えます。また、スポーツ活動を通して健康づくりにつながる取り組みを推進します。(個別目標 1-1 参照)
- トップレベルのスポーツの観戦や特色のあるスポーツ大会の開催など、スポーツの魅力を感じることのできる機会の充実を図ります。
- スポーツ活動における指導者やスポーツ大会の運営ボランティアなどとして、市民がスポーツ活動を支えることのできるしくみを整えます。
- 市民が主体的にスポーツに関わることができる総合型地域スポーツクラブ\*の創設を促進します。
- スポーツ施設の整備や改修を計画的に実施し、より快適にスポーツ活動やスポーツ観戦を行える場の確保を図ります。



\*総合型地域スポーツクラブ……子どもから高齢者まで（多世代）、様々なスポーツを愛好する人が（多様目）、初心者から上級者まで、それぞれの志向やレベルに合わせて参加できる（多志向）という特徴を持ち、地域住民により自主的、主体的に運営されるスポーツクラブのことです。

めざす  
成果

1

## スポーツを楽しむ人が増えている

気軽にスポーツを楽しむことのできる環境が整い、  
スポーツ活動に参加している人が増えています。

### 成果を計る主な指標

日常的にスポーツを楽しんでいる市民の割合		
現状値 (H23・2011)	中間目標値 (H28・2016)	目標値 (H30・2018)
36.1%	37.1%	37.5%

市民1人あたりの公共スポーツ施設 年間利用回数		
現状値 (H24・2012)	中間目標値 (H28・2016)	目標値 (H30・2018)
5.79回	6.74回	6.85回

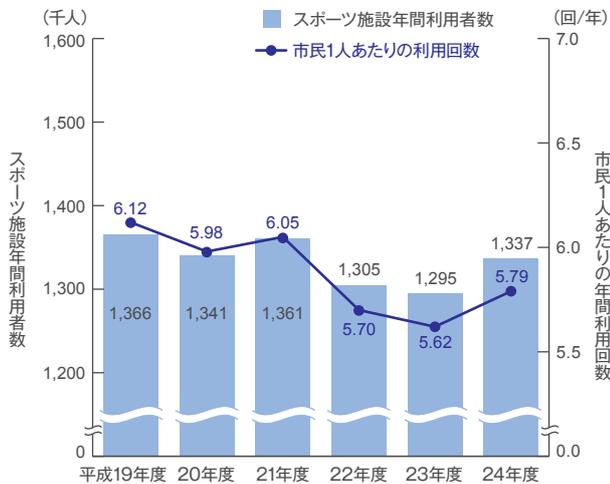
総合型地域スポーツクラブの設置数		
現状値 (H24・2012)	中間目標値 (H28・2016)	目標値 (H30・2018)
0団体	1団体	2団体

### 主な取り組み

- ・親子で参加できるスポーツイベントのほか、高齢者の健康づくりや障がい者の参加にもつながるスポーツ教室などを開催します。
- ・経験や技術、体力がない人でも参加しやすいニュースポーツ\*の普及を行います。
- ・女子サッカー大会の開催やプロスポーツの試合誘致など、特色あるスポーツイベントを開催します。また、小学生を対象にプロスポーツ選手などによる夢の教室を実施します。
- ・総合型地域スポーツクラブの育成と運営の支援を行います。
- ・スポーツ施設の適切な維持管理とともに、小中学校の体育館などの開放を行います。
- ・引地川公園ゆとりの森のスポーツ関連施設の整備を進めます。
- ・スポーツ関係団体と連携し、専門指導などを行えるスポーツ指導者の育成を進めるとともに、学校の部活動などでの活用を促進します。
- ・スポーツ大会の運営ボランティアの参加促進に向け、ボランティア登録制度の活用や市内の学校との連携を図ります。

### スポーツ施設年間利用者数と市民1人あたりの 年間利用回数の推移

資料：スポーツ課（各年度集計）



\*ニュースポーツ……新たに考案されたり、既存のスポーツを改良したりした気軽に楽しめるスポーツのことです。

個別目標  
6-3

# 大和の文化を守り育てる

## 現状と課題

- 文化芸術は、人々に楽しさや感動、精神的なやすらぎ、生きる喜びをもたらし、まち全体の魅力や市民のまちへの愛着を高める大きな要素にもなります。
- 物質的な豊かさよりも心の豊かさを求める人が増えており、文化芸術活動の重要性は、さらに高まると考えられます。
- 本市においても、文化芸術の振興を図るため、様々な機会を捉え、市民や団体の文化芸術活動の支援に取り組んでいます。
- 今後は、より質の高い芸術に触れることのできる機会の創出や活動発表の場の充実が求められます。また、本市の文化芸術を市内外へ発信することも大切です。
- これまで受け継がれてきた郷土の歴史や文化は、かけがえのない財産となっており、後世へ引き継いでいく必要があります。

## 取り組み方針

- 文化芸術を趣味や生きがいとして楽しむ人から、高度な技術や専門知識を持っている人までの様々なニーズに配慮しながら、創造活動の機会や発表の場の充実を図ります。
- 文化芸術活動に取り組む市民や団体などと連携したイベントを開催し、大和の文化芸術を広く発信します。
- 子どもが芸術に触れられる機会の充実や若者の文化芸術活動への支援など、文化芸術の発展を担う次世代の人材育成を図ります。
- 大和駅東側第4地区の再開発事業に合わせて、図書館や生涯学習センターなどの施設と融合させた芸術文化ホールを整備します。(個別目標6-1参照)
- 芸術文化ホールにおいては、質の高い文化芸術を市民に提供するとともに、大和の文化芸術を市内外に発信する拠点として、効果的かつ効率的な運営を目指します。(個別目標5-1、6-1参照)
- 文化財の保護を図るとともに、情報を広く発信し、さらなる活用と次世代への継承を促進します。

文化芸術事業（市主催・共催）来場者数の推移

資料：文化振興課（各年度集計）



歴史文化施設の利用者数の推移

資料：文化振興課（各年度集計）



めざす  
成果

1

## 多様な文化や芸術を楽しむ人が増えている

様々な分野の文化芸術団体が組織されるなど、文化芸術活動が活発に行われています。

## 成果を計る主な指標

文化や芸術活動が盛んに行われていると思う市民の割合

現状値 (H23・2011)	中間目標値 (H28・2016)	目標値 (H30・2018)
42.4%	52.4%	56.4%

YAMATO ART100\*来場者数

現状値 (H24・2012)	中間目標値 (H28・2016)	目標値 (H30・2018)
105,484人	110,000人	115,000人

芸術文化ホール年間利用者数

現状値 (H24・2012)	中間目標値 (H28・2016)	目標値 (H30・2018)
—	180,000人	230,000人

## 主な取り組み

- ・ YAMATO ART100などを通して、文化芸術の鑑賞機会や活動発表の場を提供するとともに、市内の文化芸術を広くPRします。
- ・ 小学校における対話型美術鑑賞の実施や子どもを対象とした伝統文化体験教室の支援を行います。
- ・ YAMATO イラストレーションデザインコンペ\*を実施し、入賞者による作品を市の事業に活用するなど、若者の創造活動の機会を提供します。
- ・ 芸術文化ホールについては、プロの演奏家や劇団の公演、市民の活動発表など広く活用を図り、合わせてギャラリーを配置し、より多くの市民が文化芸術に親しめるよう運営します。

めざす  
成果

2

## 郷土の文化がしっかりと引き継がれている

歴史的価値のある資料が体系的に整理され、それを展示する施設を多くの人々が利用しています。

## 成果を計る主な指標

大和市の歴史や文化は、しっかりと継承されていると思う市民の割合

現状値 (H23・2011)	中間目標値 (H28・2016)	目標値 (H30・2018)
41.5%	42.5%	42.9%

歴史文化施設\*の利用者数

現状値 (H24・2012)	中間目標値 (H28・2016)	目標値 (H30・2018)
48,339人	50,300人	51,300人

## 主な取り組み

- ・ 建造物や工芸品、歴史資料などの有形文化財の調査や修復、保存を行います。
- ・ 開発行為などに際して埋蔵文化財を調査し、記録を保存します。
- ・ 古くから伝わる風俗慣習などの無形民俗文化財を調査し、記録を保存します。
- ・ 文化財や歴史に関する講座の開催、文化財所在地の案内板の整備、市史の刊行やホームページの活用などによる情報発信を行います。
- ・ 歴史文化施設での企画展や体験イベントを実施します。また、歴史文化の学習活動や無形民俗文化財の後継者育成などに広く活用できるよう文化財の記録資料などを公開します。



\* YAMATO ART100……毎年秋に市民団体、アーティスト、行政などが開催するアートイベントをまとめ、大和の文化芸術を広く発信し、アート（文化芸術）の力で、人とまちを元気にすることを目的としたプロジェクトです。

\* YAMATO イラストレーションデザインコンペ……若者の発表活動をサポートするとともに、大和をイラスト溢れるまちに変えていくことを目的とした公募型のコンペです。

\* 歴史文化施設……郷土民家園、つる舞の里歴史資料館、下鶴間ふるさと館を指しています。

